



令和4年4月20日

各位

会社名 大黒屋ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 小川 浩平
(コード番号:6993 東証スタンダード市場)
問合せ先 財務経理部長 堀内 治芳
(TEL 03-6451-4300)

当社連結子会社の株式会社大黒屋における業務提携についてのお知らせ

当社は本日開催の取締役会において、当社連結子会社である株式会社大黒屋（代表取締役：小川浩平、以下「大黒屋」という。）が株式会社JTB（本社：東京都品川区東品川2丁目3番11号 代表取締役 社長執行役員：山北栄二郎、以下「JTB」という。）と業務提携（以下「本業務提携」という。）を行い、中古ブランド品を旅行体験に変えるサービスの概念実証(POC)の取組みを開始することを決議いたしましたので、以下の通りお知らせ致します。

記

1. 本業務提携の概要

大黒屋では、昨今のコロナ禍におけるソーシャルディスタンスを前提としたお客様の「断・捨・離」需要及び巣ごもり消費を背景とした買取・販売取引需要の新たな拡大に対応し、オンライン買取サイト「UTTA!」サービスシステムを新たに構築し、その取扱を開始すると共に自社ECサイトのリニューアルを行って参りましたが、更なる業容の拡大に向け家庭内に眠っている中古ブランド品資産の有効活用を促進すべく、旅行業界最大手であるJTBと組む事で、中古ブランド品を旅行などの体験に交換する「たんす資産かたづけ旅」サービスの概念実証(POC)の取組みを開始します。

大黒屋では同社の強みである、正確な真贋・鑑定能力に基づきお客様が保有する中古ブランド品を引取り、JTBがその商品の査定額相当分のJTBトラベルポイントをお客様に付与・提供します。本年4月20日より、対象者をJTBトラベルメンバーの一部の会員様、且つ対象地域を首都圏にしぼり、サービスの提供を試験的に開始します。

このサービスを通して、モノをコト（例えば、旅行を通じて、美術や音楽などの芸術、歴史や文化の探求及び観光などの経験・体験に自らの価値を見出す成熟社会における新たな消費のこと。）に変える創造的消費機会を発展させ新たな需要を創出する

とともに、家庭に眠る中古ブランド品資産の有効活用を推進し、SDGsの達成に貢献して参ります。

詳細は下記Webサイトをご参照下さい。

*たんす資産かたづけ旅WEBサイト：https://www.jtb.co.jp/myjtb/stage/katazuke_tabi

2. 本業務提携の背景

わが国では国内市場の成熟化に伴い、商品・サービスの機能・所有に価値を感じて消費する「モノ消費」に代わり、商品・サービスによって得られる経験・体験に価値を感じて消費する「コト消費」が拡大しています。私たちは、眠っているブランド品を所有することよりも、ご家族やご友人との旅行などの体験に価値を感じるお客様が増えているのではないかという思いから、両社の提携による、中古ブランド品と旅行との交換サービスを構想しました。

また、世界的にはSDGs実現に向けてのサステナビリティ意識の高まりにより、海外では売れ残り商品や在庫の廃棄を禁止する法律が公布されるなど、その再活用を創出する二次流通市場は大きな注目を集めております。しかし、国内の現状を鑑みると、中古ブランド品資産の多くは家庭に眠っており、その規模は4.4兆円にも上ると推計されています。大黒屋では、これら家庭に眠る中古ブランド品資産を「たんす資産」と定め、たんす資産の流通促進を目指し現在事業領域を拡大しております。今回の両社の提携を通して、より多くの「たんす資産」が有効活用される循環型社会を目指して参ります。

3. 本業務提携の内容

大黒屋とJTBとは、相互が発展するために、両社がそれぞれの得意分野や経営資源を利用し、両社が協力して事業推進することを目的として、業務提携するものとする。

大黒屋の業務：JTBから紹介を受けたJTBの会員に対する中古ブランド品買取査定サービスの提供。

JTBの業務：JTBの会員に向けた大黒屋の中古ブランド品買取査定サービスの紹介及び情報提供。

なお、中古ブランド品買取査定サービスの提供内容その他の詳細については両社が今後合意した内容により実施致します。

4. 子会社の概要

- (1) 名称：株式会社大黒屋
- (2) 所在地：東京都港区港南四丁目1番8号
- (3) 代表者の役職・氏名：代表取締役社長 小川浩平
- (4) 事業内容：古物商、質屋業

(5) 資本金：318,095千円

5. 業務提携先の概要

- (1) 商号：株式会社JTB
- (2) 本社所在地：東京都品川区東品川二丁目3番11号
- (3) 代表者の役職・氏名：代表取締役 社長執行役員 山北栄二郎
- (4) 事業内容：旅行業等
- (5) 設立年月日：昭和38年11月12日
- (6) 資本金：1億円（令和3年3月末現在）
- (7) 従業員数：23,785名（令和3年3月末現在）
- (8) 大株主及び持ち株比率：非開示
- (9) 上場会社と当該会社との間の関係
資本関係：該当事項はありません。
人的関係：該当事項はありません。
取引関係：該当事項はありません。
関連当事者への該当状況：該当事項はありません。

(10) 当該会社の最近3カ年間の連結営業業績及び連結財政状態

決算期	平成31年3月期	令和2年3月期	令和3年3月期
連結純資産	166,654百万円	157,218百万円	47,526百万円
連結総資産	696,397百万円	628,711百万円	658,735百万円
1株当たり連結純資産	35,361円	33,215.28円	9,872.18円
連結売上高	1,367,396百万円	1,288,569百万円	372,112百万円
連結営業利益	6,327百万円	1,393百万円	△97,556百万円
連結経常利益	3,014百万円	2,548百万円	△74,276百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	△15,116百万円	1,649百万円	△105,159百万円
1株当たり連結当期純利益	△3,280.38円	357.86円	△22,820.96円
1株当たり配当金	100円	100円	0円

* JTB WEB サイト：<https://www.jtbcorp.jp/jp/>

6. 日程

- (1) 取締役会決議日：令和4年4月20日
- (2) 契約締結日：令和4年4月20日
- (3) 「たんす資産かたづけ旅」サービスの概念実証(POC)

開始日：令和4年4月20日

終了日：令和4年5月8日

7. 今後の見通し

本業務提携に伴うJTBとの「たんす資産かたづけ旅」サービスの概念実証(POC)の取組みの開始は、当社グループの中長期的な企業価値の更なる向上に資するものと考えておりますが、現時点では、当面の業績に与える影響は軽微であると予想されます。

以上